

令和4年度第2回安城市総合交通会議

1 日時

令和4年9月27日（月） 午前9時30分～

2 場所

安城市役所 第10会議室

3 出席委員

22名

4 会議内容

1 あいさつ

2 議題

（1）「安城市地域公共交通計画策定」に係る素案について

3 報告事項

（1）あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

（2）あんくるバスへのキャッシュレス決済導入について

（3）夜間高速バスの新安城駅南口乗入れについて

（4）その他

■委員からの主な指摘事項と対応について

議題（１）「安城市地域公共交通計画策定」に係る素案について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈エプロン会〉 ・市民アンケート回答者の年齢層はどうなっているのか。 ・利用時間、本数を増やしてほしいという意見について、利用が少ない時間を減らして、利用が多い時間帯に本数を増やしてはどうか。また、料金について、定期が安すぎるので倍にしてもいいのでは。 ・道路渋滞について、アンフォーレの前は土日に混雑する。どうにかならないか。 ・バスの乗り降り口部分で車道と歩道の段差がある場所があり、自転車や車いすの人が困る。ないところもあるので同様に対応できないか。	〈事務局〉 ・安城市の人口構成と対応した構成比となっている。 ・運行本数等のサービスや料金の改定については、今後の課題として検討する。 ・現状の渋滞に加えて、今後の大東町の大規模商業施設周辺による道路渋滞も予想されることから、今後の動向を注視する。 ・車の乗入口部分で段差が5cm設けられており、理由は視覚障がい者の認知のため。バス停の乗降口は段差がないような整備を心掛けているが、乗入口と兼用しているバス停も多い。対応可能な場所があれば、個別に対応を検討する。
〈大興タクシー〉 ・市民の生活の足としての必要性は分かったが、市外からの来訪者、観光需要の現状把握と今後についてどう考えているのか。大河ドラマもあるので、それについても検討してはどうか。	〈事務局〉 ・市内主要観光施設であるデンパークや歴史博物館等への公共交通による移動手段は確保しており、今後も維持していく。観光関連の視点も現状整理に追加し、計画に反映するように検討する。
〈アイシン〉 ・あんくるバスの路線で高校生の通学に使えそうな路線があるが、ダイヤが合わず利用されていない時間帯がある。高齢者の利用が多いのは分かるが、ダイヤをずらして、通学時間に合わせたら学生の利用が増えるのではないか。	〈事務局〉 ・地域ヒアリングでも通学利用に関する利用促進のご意見をいただいております。利用促進に効果的であると考えています。計画への盛り込みを検討する

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈市民〉 ・基本方針1の指標について、要因分析になっていないのでは。 ・そもそも当初の指標自体が適正ではなかったのではないかととれる。	〈事務局〉 ・今回の計画では、指標は慎重に検討していく。
〈商工会議所〉 ・事業者ヒアリングについて、「混雑して事故が起きやすい」ことを課題として挙げているが計画策定後に考えるのでは遅いと思う。何か具体的に対策等は考えているのか。	〈事務局〉 ・更生病院等の結節点において、乗り継ぎの利便性を高めた結果、複数のバスが待機している状況が発生している。バス待機所の増設を対応策として施設管理者と協議しているが、早期の対応が難しい状況もあり、引き続き協議していく。
〈愛知県タクシー協会〉 ・背景と目的が端的に書きすぎている。もう少し丁寧に記載すべきでは。 ・P15④一般タクシーについて、「サービス水準」をまとめる主旨であれば、事業者の供給力である車両台数を記載すべき。 ・事業者ヒアリングについて、バス事業者だけのように見えるが、他の事業者についてはどうか。	〈事務局〉 ・目的や背景内容をより具体的に記載する。 ・記載内容を修正する。 ・バスに偏った記載となっていたため、タクシー事業者へのヒアリング結果も追記する。
〈運輸支局〉 ・安城市が準特定地域だから台数を増やせないことが課題ではなく、運転手不足で現在の登録台数すべてを運行できないことが課題。「準特定地域」という記載があることによって、「準特定地域」が台数増加の支障となるように受け止められる。	〈事務局〉 ・「準特定地域」であることは、現状を説明しているに過ぎず、課題としては「運転手不足」であるという認識。誤解のないような記載方法に修正する。
〈バス協会〉 ・P15 あんくるタクシーは開始して7年もたっているので「試験的」という言葉はいいられないのではないかと。	〈事務局〉 ・現在も試験的ではあるが、記載方法は検討する。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈市民〉 ・あんくるバスは近隣市町と比べて充実しており、現在のネットワークはほぼ完成に近い。このネットワークをベースに微修正を加えるということだと思うが、分かりにくい。もっとそのことがわかる記載方法とするとよい。 ・利用人数に関する指標については、コロナの影響で今後の動向は不透明であるため、国や運輸局のデータなどを参考にしながら進めていけると良い。	〈会長〉 ・各種データを参考に指標を検討する。
〈運輸支局〉 ・安城市の公共交通が充実しているのはそのとおりだが、その中でも、今の安城市で足りない部分を抽出する必要があるのではないか。 ・費用負担等の調査結果から、「現状維持」が支持されているが、本当に現状のサービスが必要なのか議論する余地があると思う。	〈事務局〉 ・調査結果から、公共交通に関する情報の周知が課題と考えている。発信はしているものの、興味を持った人が情報を取りに行かないと得られないというのが現状。自然に情報が受け取れるような施策を検討していきたい。
〈市民〉 ・アンケート調査票は改善されていたが、やはり量が多く、初見では回答しにくいと感じた。例えば、WEBで回答するような方法もよいのではないか。 ・P36 乗り継ぎの利便性について、名鉄バス安城線が休日にデンパークまで延伸したことにより昼間の本数が半減し、乗り継ぎの不満度が高くなったというのは感覚として納得できる。施策の目的のためには致し方ないと思う。今回の指標では、目的を達成したがそのことで指標が悪化することがないように設定したほうがよいと思う。	〈事務局〉 ・今後のアンケート実施の際に参考にさせていただく。 ・今回の計画では、指標は慎重に検討していく。

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈市民〉 ・ P33 利用者負担のあり方について、地域によってばらつきがあるように思える。その理由についても検討したほうがよいと思う。 ・ P38 の不満割合がマイナスになった理由も分析した方がよいと思う。	〈事務局〉 ・ 検討する。 ・ 検討する。
〈会長〉 ・ P41, 42 の表右端の課題の整理の説明が必要ではないか。5章の課題から6章の基本方針へのつながりがわからない。 ・ 網形成計画から交通計画へのつながりが書いていない。背景と目的に記載する必要がある。 ・ P44～46「調査研究します」「支援します」というのは具体性がなく、やるのかやらないのかわからない。	〈事務局〉 ・ 5章及び6章のつながりが分かりやすくなるように修正する。 ・ 背景及び目的について、より具体的な内容を記載する。 ・ 表現方法を修正する。
〈運輸支局〉 ・ 国や県の数値が出てくるが、安城市の数値を使ってほしい。	〈事務局〉 ・ 安城市の数値を使うことが適切な所は市の値を利用する。

報告事項（１）あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

意見なし

報告事項（２）あんくるバスへのキャッシュレス決済導入について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈大興タクシー〉 ・ 通常運賃での支払いよりも支払いで時間がかかり、運用に支障がない可能性があるのではないか。ヒアリング等で状況確認をしてほしい。	〈事務局〉 ・ 各事業者へのヒアリング等で状況を把握し、必要に応じて改善をはかる。

報告事項（３）夜間高速バスの新安城駅南口乗入れについて

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈大興タクシー〉 ・運行日数と乗降者の見込みが分かれば教えてほしい ・朝５時に新安城駅南に到着とあるが、今現在、早朝の配車にはタクシーは対応しておらず、公共交通での移動ができない状況。もし、そこで需要があるなどの情報提供いただけたらタクシーでの対応も検討できるかもしれない。	〈事務局〉 ・基本的に毎日運行するが、乗降予定者数については把握していない。 ・利用者数等の情報が提供されれば、総合交通会議にて報告させていただく。

報告事項（４）その他

- ・ドライバーの労働時間短縮について（R6.4 施行予定）
- ・バス時刻表にタクシー情報、大河のスポットへの情報追加について
- ・バス運転手採用イベントについて